

# IBM Research Global Technology Outlook



“人は常により根源的なものを追い求めてきました。それは、機会を捉まえ、発展させ、大きな課題を克服していくという、人に特有な能力なのです。”

-- サミュエル・J・パルミサーノ  
IBM コーポレーション

## 競争力を維持するために、将来を見通す

グローバル化の高まりにより、ビジネスのやり方は変化しています。新しい技術は業界の課題と結びつくことによって、企業に新しい経営手法をもたらします。ビジネス・リーダーは、これらの変化が現在の経営手法に与える影響を予測し、新しい技術的イノベーションをいかにビジネスの成功に結びつけるかを考える必要があります。

## The Global Technology Outlook

グローバル・テクノロジー・アウトルックは、研究機関や市場における技術動向を注意深く考察することにより、破壊的なトレンドとなりうるもの、あるいはその前兆を明らかにします。この予測は非常に成功しており、IBM が将来の技術の方向性について正しい決定や投資を行うことや、これらの技術トレンドが個々の業界に与える影響の予測を可能にしています。

IBM 基礎研究部門は四半世紀以上にわたって、グローバル・テクノロジー・アウトルックを作成しつづけてきました。これは、世界中の学術機関、パートナー、お客様からの莫大な洞察を取り入れ作った、情報技術の将来に関する IBM のビジョンです。そして、これは毎年 60 億ドルにもおよぶ IBM の研究開発投資のベースになるものです。

グローバル・テクノロジー・アウトルックは技術の進歩に対して一つの包括的な見方を示します。しかし、技術そのものについてだけ語るものではありません。新しい技術がどのように市場で利用されるのか、また、その利用の過程において、どのように業界を進化させ、新しいビジネスを作り出すか、という見通しも同時に示しています。



## Global Technology Outlook 2008 について

アーキテクチャーに多くの変化が起こっています。それらは全て、ITの新しい利用方法、ひいては新しい企業環境への進化へとつながっています。

Global Technology Outlook 2008では、以下の5つの最先端技術トレンドを特定しました。

### コンピューター・システムの設計手法の革命

コア・コンピューター・アーキテクチャーの設計は、半導体、ハードウェア、ソフトウェアの融合を模索することにより、はじめて最高の計算性能を維持し、明日のビジネスニーズの変化に応じることができます。これらの新しいコンピューター・アーキテクチャーを最大限に活用するために、いくつかのマーケット・セグメント、すなわちコストや電力に最適化されたローエンドのシステム、ハイエンド・サーバー、そして特殊用途領域システムのそれぞれにおいて、システムとソフトウェアは飛躍的に進化するでしょう。

### ビジネスニーズに“クラウド”で応じる

我々の情報のエンジンルームであるデータセンターは、現在世界中に広く分散し、個別に管理されていて、全体として最適化されているとはとても言えない状態です。この問題に取り組むために、新しいインターネットスケール・データセンターの考え方が出現しています。これらの巨大なデータセンターは急速に成長し拡大することができます。しばしばクラウド・コンピューティングと称されますが、共通のインフラからアプリケーションにアクセスできるので、それぞれのデータセンターはもっと効率的になり、社内外の相互接続が一層促進されるようになるでしょう。これにより大企業は、その柔軟性を驚異的に高めることができます。なぜなら、企業のビジネスの成長を助け、よりよいサービスを提供するためのITツール -- webデリバリー、ビジネス分析、ビジネス・プロセス・サービスといったもの -- が、これらのデータセンターの上ですばやく簡単に利用可能になるからです。

### 企業のためのソーシャル・ネットワーキングとデータ・ネットワーキング

コミュニティーWebプラットフォームは、新しいツールにより情報を共有することがさらに簡単になることから、多くのユーザーを惹きつけ、ユーザーがプラットフォームのコラボレーション性にさらなる価値を見出すことから、より膨大なデータを蓄積するようになります。その結果、このようなプラットフォームは、コンテンツの貢献の新しい形を広めていきます。この新しいビジネスモデルが進化するにつれ、これらの新しい技術のメリットを享受するために企業が必要とする新しい機能がさらに生まれ、企業を継続、成長させていくでしょう。

### リアルタイムな情報処理と解析

リアル・ワールド・アウェアとは、全てのデータが、過去、現在、社内、社外を問わずにリアルタイムに流れ、処理され、解析される、新しいアプリケーションの形、まさにそのことを指します。これによって、企業は従来のデータ解析手法を超えて、一歩先に踏み出すことができます。リアル・ワールド・アウェアなアプリケーションをサポートする新しいシステム・アーキテクチャー、ソフトウェア・アーキテクチャーが出現しつつあり、企業のビジネス・アプリケーションもこれらの新しい技術を使うために拡張されていくでしょう。

### いつでも、どこでも、ビジネスを

企業向けモバイルのエリアは、ビジネスの要求と技術の進歩により非常に大きな変化を遂げています。多くの地域で、ますますモバイル端末がPCにとって代わろうとしています。モバイルビジネスが急速に発展するにつれて、社員が遠隔

からメールにアクセスできるだけでなく、インフラとセキュリティ機能のサポートにより、いつでも、どこでも重要なデータやアプリケーションにアクセスできるようになるでしょう。

IBMのイノベーション支援については、[www.ibm.com](http://www.ibm.com)、[www.ibm.com/jp](http://www.ibm.com/jp)をご覧ください。

